

自民党



林 浩美

新行財政改革プラン

【質問】これまでの進捗よく状況は。計画が遅延しているものなど今後の課題は。

【答弁】改革成果を反映させ、二十一年度予算は減債基金からの新規借入れをせずに収支均衡を図るといふ財政的目標を達成できた。今後は、下水道事業と水道事業部門、緑政部門と建設局の組織統合や、それに伴う公園事務所と建設センターの組織統合など簡素で効率的な執行体制の確立を進める。公立保育所職員配置計画基準の見直しなどは計画期間内の達成は困難で、「ネーミングライツ」区内公共施設の管理運営も遅延が見込まれるため、適宜、状況変化に的確に対応しつつ改革を推進する必要がある。

先行取得用地の保有状況

【質問】総合的土地対策の取り組みは。

【答弁】現在「第三次総合的土地対策」を推進中で、二十年度末の土地開発公社などの土地保有額は五百二十六億円で二十一年度と比べ75.5%縮減できた。二十一年度も新川崎地区都市拠点総合整備事業用地など当初予算に計上した取り組みを進め、保有額は二百六十億程度まで縮減できる見込みである。今後事業化・再取得を進め長期保有土地を縮減したい。

滞納債権対策

【質問】国民健康保険料や市営住宅使用料などの滞納対策の現状と成果は。

【答弁】二十一年度は国民健康保険料について収納管理課の設置や民間事業者を活用した電話納付案内業務を実施し、七月末現在の収納額は、二十年度と比較して約四億二千万円の増となった。市営住宅使用料は長期滞納者などに明け渡し請求を三十四件実施するとともに、弁護士に債権回収を委託している。財政局滞納債権対策室では滞納整理マニュアルの作成や徴収強化に向けた実務支援などを行っており、健全な財政構造の構築と負担の公平の確保を図るため、全庁を挙げて滞納債権削減に向け取り組んでいく。

全国学力・学習状況調査

【質問】過度の競争を懸念し学校ごとの結果を公表しないとのことだが、公表に後を向くことで調査を生かせない。見解は。

【答弁】調査の目的は児童生徒の学習の状況を把握し、教育課程や指導方法の改善・充実などに役立てることである。平均点の比較にこだわるより、子どもたちが何にまつぎ、どのような学習上の課題を抱えているかを分析して改善につなげることが大切であり、調査の趣旨を生かすことになると考える。

保育緊急5か年計画(改訂版)骨子

【質問】保育所の大規模増の財源は。保育事業に特化した税の使途は不平等と考えるが、保育料値上げなどへの見解は。

【答弁】安心こども基金による整備費補助や賃借料補助など特定財源の活用を図りながら調整したい。認可保育所の保育料は十二年度から据え置かれており、保育料を受託負担のあり方から検証することが必要であるが、厳しい経済情勢が続いていることから慎重に検討していく。

水道事業における行財政改革効果の市民還元

【質問】料金負担の軽減を進めているが施設の耐震化など安定的な給水確保が最重要である。改革効果還元の考え方は。

【答弁】将来にわたる安全・安定給水のための施設整備を前提に、耐震化による市民還元も十分に実施したい。施設の耐震補強などは、重要性や緊急性の高いものを優先実施し、配水池・配水塔の耐震化率を二十年度末の1.5%から三年度末には61.7%に引き上げる。管路の耐震化は更新率の引き上げにより管路更新六十年サイクルの早期達成を実現したい。水道施設の整備も十分に推進した上で、基本料金の10%程度の負担軽減を三年間実施する。

新型インフルエンザワクチン

【質問】国内では必要量の三分の一程度しか生産できない。ワクチンや検査キットの備蓄量など市の現況は。

【答弁】新型インフルエンザのワクチン接種事業は、国が実施主体となっており、ワクチンを購入し受託医療機関に配布するもので、市は国や市医師会などの関係機関と連携し、対象者への周知や受託医療機関の確保など接種体制の整備を進めている。検査キットなどは各医療機関が購入しているが、市では適切な流通が図られるよう市医師会などに協力依頼をしてきた。今後も必要な情報提供に努めたい。

若年層の歯周疾患検診

【質問】健康増進法に基づき四十・五十・六十・七十歳を対象に歯周疾患検診を実施しているが、若年層の歯周病が増加傾向にある。検診の対象を若年層に拡大した場合の費用と効果は。



お口の健康フェア

【答弁】二十歳と三十歳を対象とした場合の費用は千四百万円程度と想定され、検診は歯周病の早期発見や予防の啓発につながると思われる。若年層からの歯周病予防としては、今後も「お口の健康フェア」などを活用して啓発に努めたい。

二ヶ領用水の保存整備

【質問】市民の歴史的財産として残すためどのような方策をもって取り組むのか。

【答弁】二ヶ領用水は県内で最も古い人工用水として川崎の生活を支えてきた歴史的に重要な地域資源で、市では平成五年に「水文化都市川崎」の創出を目指し二ヶ領用水総合基本計画を策定した。二十三年の竣工四百年記念事業終了後も市民と連携し、二ヶ領用水の成り立ちを広く理解いただけるよう努力するとともに基本計画の見直しにも取り組んでいく。

共産党



佐野仁昭

行財政改革効果の検証

【質問】改革効果の公表において投資的経費の効果額は単年度の効果と考えるが見解は。人件費は削減効果額だけを上積みしているが、指定管理者への管理委託などの経費の増は見込まなくてもよいのか。

【答弁】投資的経費は基本的に単年度処理としているが、実績を分かりやすく表すために改革期間の最終年度はその効果額を累積して処理することとしており、仮にこの方法を変えても収支の状況は変わらない。また行政サービスの提供手法の転換により人件費削減の代わりに増加する委託経費などは、必要な経費として見込んだ上で収支のバランスを図っている。

保育緊急5か年計画(改訂版)骨子

【質問】保育所利用申請者率をどう推計しているのか。待機児童解消には定員増を少なくとも五千人規模にすべきでは。

【答弁】申請者率は十九年以降約1%ずつ上昇しているが、就学前児童数が急速に増加している状況を勘案すると正確な推

計は困難である。骨子では二十一年度以降に三年間で約三千人の大幅な定員増を図ることとしており、併せて既存保育所の定員の弾力化なども図りながら入所できる児童数を増やしたい。

道徳副読本の個人購入

【質問】副読本の共有は著作権上の問題があるとの文部科学省の説明を受け市は個人購入を決めたが、国の説明に誤りがあったことが明らかになった。すでに保護者が負担した購入費の取り扱い。

【答弁】二十二年十二月の小学校各教科等担当指導主事連絡協議会で文部科学省の説明を受けた。公の席の説明であること、再度国に確認し同様の説明を受けたこと、などから至急是正すべきと判断し学校に対応を求めた。その後国から協議会での説明を訂正するとの回答があり市に詳しい説明と謝罪があったもので、購入費の取り扱いには国と協議を継続している。

特別養護老人ホームの整備

【質問】待機者が増える中、市は二十五年



市内の特別養護老人ホーム

度までに千二百二十五床を整備する計画としたが二十三・二十四年度の取り組みは。民有地の活用も検討すべきでは。

【答弁】二十三年度の開所として幸区東小倉地区九十六床、多摩区宿原西地区八十床、幸区小向野地区二十九床の計二百五十五床を予定し、二十四年度は百九十六床の整備を計画している。今後も特別養護老人ホーム整備促進プランに基づき調整を進め、適宜公表していく。民有地の活用なども相談を受けており公有地の活用と併せて着実な整備を進めていく。

中小企業支援

【質問】国の経済危機対策臨時交付金は、工場の賃貸料など固定経費への支援にも活用できるとのことだが対応は。

【答弁】交付金は趣旨や事業効果を踏まえ商店街活性化や就業支援のための事業のほかスクール・ニューディール構想の推進などに活用することとした。しかしながら市内の中小企業の技術力などを維持・育成することは重要と認識している。これまでも資金調達の円滑化などを通して中小企業の活力向上を図ってきたが、引き続き積極的に支援していきたい。

水道条例の改正

【質問】使用水量が五百立方メートルまでの一般家庭や中小企業などの料金に比べ、大口利用者に手厚い値下げとなっている。千立方メートルを超える五つの水量区分を一つに統合した理由は。

【答弁】日本水道協会の基準では料金体系における最高単価は最も高額の給水原価を上限としている。また市の水量区分は数多く複雑な料金体系であるため、最も高額の給水原価三百四十三円を上回る六つの水量区分の料金について、五百立方メートルを超え千立方メートルまでを三百四十三円とし、千立方メートルを超える五つの水量区分を一つに統合し三百

かわさき市議会 Q&A

Q 障害のある方への対応は？
A 【傍聴】議場の傍聴席には、車いすの方に対応した席を3席、耳の不自由な方に対応した席を2席用意しています。本会議の傍聴を希望する方は、第2庁舎1階守衛室にて、当日、先着順に住所、氏名、年齢を記入していただき、傍聴券を交付します。傍聴席は第2庁舎8階です。
【点字版・録音版】目の不自由な方のために、議会広報紙「議会かわさき」の点字版と録音版を発行し、無料でお届けしています。なお、録音版はカセットテープとCD(デジタル)の2種類を作成しています。
【傍聴】議会局庶務課 044-200-3354
【点字版・録音版】議会局広報・報道担当 044-200-3377

用語の解説

このほか、平和問題、小児医療費助成制度、就学援助制度、川崎南高校の解体工事などについて質問がありました。

◆ホームタウンスポーツ事業(二画) 競技スポーツのチームや選手が地域と一体となって行うスポーツ活動をホームタウンスポーツと名付け、川崎フロンターレなどの推進パートナーとともにスポーツ振興やまちづくりに取り組んでいます。

◆一般廃棄物処理基本計画(かわさき市ヤレンジン・3R)(二画) 地球環境にやさしいまちを目指し環境意識の向上、事業運営の効率化などを柱として策定したものです。3Rとはリデュース(発生・排出抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)のことをいいます。

◆地域包括支援センター(二画) 地域で暮らし高齢者を総合的に支えるための相談窓口で、介護予防ケアマネジメントのほか、虐待防止など保健・福祉・医療にわたるさまざまな相談に保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などが連携して対応します。

◆雨水整備率(二画) 下水道整備による雨水処理を計画している区域の面積のうち、既に整備が完了している区域の面積の割合です。